

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和2年1月31日

協議会名： 南城市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)鏡原第一交通	市内区域運行(ドアtoドア)によるデマンド交通	<p>利用促進に向けた「公共交通だより」の発行、及び適正利用に向けたキャンセル防止の呼びかけを公共交通だよりにて実施。</p> <p>また、交通会議の中で、おでかけなんじいの運行形態(料金・運行エリア)の改定について協議を整えることができ、予定通り、2019年10月に交通再編を実施することができた。</p>	A 南城市生活交通確保維持改善計画のとおり事業は適切に実施された。	B <p>○登録者数 目標:5,210人 実績:5,619人</p> <p>○1日当たり利用者数 目標:84.0人/日 実績:79.9人/日</p> <p>○1便当たり利用者数 目標:2.7人/便 実績:2.6人/便</p> <p>○市民(成人)一人当たりに 換算した負担額 目標:40円/月 実績:49円/月</p>	<p>本市では、2019年9月10日付けで「南城市地域公共交通再編実施計画」の認定を受け、同年10月に交通再編を実施し、新たにNバス(市内線バス)の運行を開始した。</p> <p>今後は、おでかけなんじいの運賃改定、車両の小型化により、高齢者の利便性向上、効率化を図るとともに、Nバスが通らない交通空白地帯を補完する役割を果たす。</p>